

2 訓練修了生およびその上司へのアンケート、ならびにその調査結果

質 問 状

R T P : Direction Régionale de Travaux Publics

(訓練生派遣元である公共事業省所管の地方建設局、全国で7地方あり)

D T P : Direction Provinciale de Travaux Publics

(訓練生派遣元である上記地方建設局所管の県工事事務所、全国で42県あり)

訓練修了者上司の氏名、職位：

訓練修了者の氏名、職位：

履修前職位：

履修後職位：

I - 訓練内容(別添、訓練計画参照)

I-1 訓練内容はあなたのニーズに合致していますか。 はい いいえ

「はい」の場合、いかなるものが改善されたか例を掲げてください。

I-2 追加すべき科目、または削除すべき科目はありますか。

*追加すべき科目、またその科目を加えることにより何を期待しますか。

*削除すべき科目、削除すべき理由。

I-3 全課程中の時間配分はどうか。 現状でままでよい 変更すべき
その理由をのべてください。

I-4 実習部分は、 多すぎる 充分 不十分 である。
あなたの回答に関する意見を述べてください。(2行)

II - 訓練計画および期間

II-1 訓練期間は、 現状のままでよい 不適當 である。
不適當の場合は、その理由を述べてください。

II-2 訓練実施時期は、 現状のままでよい 不適當 である。
不適當の場合は、その理由を述べてください。また最適時期はいつですか。

II-3 現在実施する訓練は、短期専門コース(モジュールコース)に置き換えるべきと
考えますか。 はい いいえ
その他の意見：

III - 資料

III-1 訓練生に配布される資料は、あなたの職場で他の職員が利用できるようになっ
ていますか。 はい いいえ
「はい」の場合、資料の内容・質(でき具合)はどうか。
 非常によい よい 普通

IV- 履修後の状況

IV-1 訓練生は、履修したと同じ専門分野の業務に従事していますか。

はい いいえ

いイエの場合、その理由を述べてください。

IV-2 訓練は以下の事項について改善をもたらしたかどうか。

A B C D

建設機械稼働率

部品在庫管理

計画的作業

安全

道路保守

A : 大改善をもたらした

B : かなりの改善をもたらした

C : まあまあの改善をもたらした

D : 改善なし

IV-3 以下の事項について、訓練生のレベルがいかに向上したか、100点満点で評価してください。

研修前 研修後 備考

施工

建機保守

安全

信頼できる故障診断

機械修理の腕の質

マニュアル及び工具の使用

標識の信頼性

竹材等材料の識別

道路保守技術の習熟

試験結果の活用

現場作業の組織

施工費用計算のコンピュータ応用習熟

保守作業の運営

部品在庫管理

機械経費算定方法のコンピュータ応用習熟

自発的率先

グループ作業

V-1 I F E E R 訓練関係者(インストラクタ-等)の能力に関する総体的評判はどうか。

よい 普通 よくない

V-2 あなたの意見を忌憚なく述べてください。

Questionnaire

RTP/OTP :

Nom, prénom et qualité du Chef hiérarchique :

Nom, prénom et qualité du stagiaire:

Avant le stage :

Après le stage :

I- CONTENU DE LA FORMATION (voir ci-joint programme).

I-1 Répond-t-il à vos besoins ?

Oui Non

Si oui : Donner quelques éléments d'amélioration que vous avez constatés.

I-2 Y-a-t-il des cours à ajouter ou à éliminer ?

* Les cours à ajouter et qu'est ce que vous en attendez ?

* Les cours à éliminer et pourquoi ?

I-3 Comment trouvez-vous la répartition du temps pour l'ensemble des cours ?

à Conserver à modifier

Expliquez pourquoi :

I-4 la part des cours pratiques est-elle ?

plus que suffisante Suffisante Insuffisante

Argumentez votre réponse en deux lignes.

II- PLANNING ET DUREE DE CHAQUE STAGE ?

II-1 La durée de chaque stage est-elle ?

Acceptable Inacceptable

Si c'est inacceptable dire pourquoi.

II-2 La période de stage est -elle ?

Convenable non convenable

Si c'est non convenable dire pourquoi ? et quelle serait la période la plus propice ?

II-3 Souhaiteriez vous que la formation actuelle soit remplacée par des modules de courte durée ?

Oui Non

Autre à préciser :

III - LES DOCUMENTS

III-1 Les documents fournis aux stagiaires sont-ils mis à la disposition de tout le personnel de votre service ?

Oui Non

Si oui comment en trouvez vous la qualité ?

Très bonne bonne Ordinaire

IV - SITUATION APRES LE STAGE

IV-1 Le stagiaire exerce-t-il dans la discipline où il a été formé ?

Oui Non

Si c'est non dire pourquoi ?

IV-2 La formation a-t-elle apporté une amélioration sur les aspects suivants ?

	A	B	C	D
Disponibilité des engins				
La Gestion des stocks				
L'organisation du travail				
Sécurité dans le travail				
L'entretien routier				

- A: Grande amélioration
- B: Assez bonne amélioration
- C: Amélioration moyenne
- D: Pas d'amélioration

IV-3 Notez, sur une échelle de 100 points, le stagiaire sur les aspects suivants :

	Avant le stage	Après le stage	Observation
Exécution des travaux			
Entretien des machines			
Sécurité			
Fiabilité des diagnostics			
Qualité des réparations mécaniques			
Utilisation des manuels et d'outillage			
Crédibilité de la signalisation			
Identification des matériaux			
la maîtrise des techniques routières			
Exploitation des rapports de laboratoire.			
Organisation chantiers.			
Maîtrise de la nouvelle application informatique de comptabilité Analytique			
Organisation de la maintenance			
Gestion des stocks			
Maîtrise de l'application de la comptabilité industrielle et commerciale			
Initiative personnelle			
Travail en groupe			

V - DIVERS

V-1 Quels sont globalement les échos sur la compétence des animateurs à l'IFEER ?

Positifs

Moyens

Négatifs

V-2 Mentionnez librement vos remarques.

序言

96年4月10日道路局で開催した合同委員会で採択された提言により、IFEERは開講後3年を経過したので、これまで実施した訓練を評価するために(訓練生の派遣元である)各県工事事務所に対しアンケートを実施する時期に達していると判断された。

このため、訓練を様々な角度からとらえた質問状を作成し、各DTP、RTPに配布した。信頼性が高く活用できる回答を得るために、訓練生の上司(地方機材センター長、インフラ課長)に補佐するよう依頼をした。

予定回答数は525件であったが、今日得られた回答数は236件、回答率45%であるがこの数字は全容を把握できる数字であると判断した。

得られた結果は、以下の通り表に掲げる。データは主にパーセントで表示するが、実数を得るには下表の各訓練コース別の実回答数を参考にされたい。

訓練コース	予定回答数	実回答数	パーセント
整備コース	108	71	66
道路保守コース	164	85	52
管理コース	85	26	31
運転コース	168	54	32
合計	525	236	45

アンケート回答結果

I. 訓練内容

I.1 訓練内容はあなたのニーズに合致しているか。

訓練コース	はい%	いいえ%	改善すべき内容
道路保守コース	98	2	材料試験、道路保守通常定期保全 公用地の管理
整備コース	85	15	
管理コース	92	8	管理手法、部品在庫管理、倉庫管理
運転コース	100	0	建機運転、施工、建機保守

各コースで実施する訓練内容は利用者側のニーズに適っていると判断できる。

I.2 追加または削除すべき教科内容

訓練コース	追加すべき教科	削除すべき教科
道路保守コース	作業現場視察を増やす。	なし
整備コース	電気、メカニックの実習を増やす。 道路局所有建機の予防保守を増やす。	理論を減らす。

管理コース	コンピュータ授業を強化。	メカニック
運転コース	電気、メカニック、運転実技を増やす。	なし

訓練生は日常の作業で発生する実例問題に対応できるように、実習を増やすことを希望している。

I.3 訓練全体についての時間配分

訓練コース	現状維持%	改善要%	留意点
道路保守コース	85	15	
整備コース	55	45	実習を増やすこと。
管理コース	38	58	コンピュータを利用した実習を増やすこと。
運転コース	80	20	実習の時間を増やすこと。

全般的に現状の時間配分を保持すべきであるといえる。但し、理論を減らし実習時間を多くすることを希望する者もいる。

I.4 実習時間配分

訓練コース	充分以上%	充分%	不十分%	留意点
道路保守コース	-	35	65	測量、材料試験、現場視察を増やすこと。
整備コース	-	63	37	
管理コース	12	28	60	コンピュータを利用した実習を増やすこと。
運転コース	2	51	47	実習の時間を増やすこと。 実習のできない雨期の訓練を避けること。

上記結果から研修生は実習を増やすことを希望している。

II 訓練計画および期間

II.1 訓練期間は好ましいか。

訓練コース	適合%	不適合%	不適合の理由
道路保守コース	81	18	
整備コース	62	38	期間が長すぎる。
管理コース	65	35	期間が長すぎる。1.5 x 2月に分割すべきである。訓練内容が多すぎるので、在職期間中、2年毎に1月間の訓練を実施すべきである。
運転コース	71	29	3月間を一度に行なうのは長すぎるので内容に応じ1月毎に分割する。5機種を全部行なうには3月では短すぎる。

上記の表から訓練期間は全般的に好ましいと言えるが、整備コース、管理コース訓練生のそれぞれ1/3は期間短縮を希望している。

II.2 訓練実施時期に支障はないか。

訓練コース	支障なし%	あり%	不適合の理由
道路保守コース	78	22	ラマダン月間を避ける。
整備コース	68	32	雨期を避ける。
管理コース	73	19	ラマダン月間を避ける。 (夏期)休暇時期を避ける。
運転コース	82	18	派遣元のSLMと合意した時期に実施。 雨期は実習が困難であるので冬期の訓練は実施しない。 降雪時期、建機運転員は除雪作業があるのでDTPは彼らを研修に参加させられない。

雨期には天候が好ましくないので、運転コースの実習時間は充分ではなかった。(地方機材センター、地方工事事務所等の)工場長、修理工場長は訓練生が業務に支障を来たさない時期に実施すべきと考えている。

II.3 現行の訓練は短期間の専門コース(モジュール)に置き換えることを希望するか。

訓練コース	はい%	いいえ%	不適合の理由
道路保守コース	42	54	
整備コース	38	62	
管理コース	30	70	●現行の訓練を3単元に分割する。 機械の初歩、機械保守・部品在庫管理、 コンピュータ・積算の各単元に分割。
運転コース	39	61	●各機種1ヵ月毎の単元として分割。 ●機種毎の専門コースを設定。

短期専門コースの訓練は、訓練生の40%が実施を希望している。

(1コース、1ヵ月)

III 資料

III-1 訓練生に配布された資料は、貴部門の全職員が利用できるようにしているか。

資料の内容・質はどうか。

訓練コース	はい%	いいえ%	資料の内容・質		
			非常に良い%	良い%	普通%
道路保守コース	38	59	14	27	2
整備コース	55	45	-	95	-
管理コース	50	50	4	38	8

運転コース 30 70 13 81 0

資料のでき具合は良好であるが、訓練生に配布した資料は彼らの手元に留まったままであり、技術・知識の伝播は限定されていることが判る。

この情報伝達不足を解消するために、必要な資料を各RTPに持ち帰り、各部門に配布することを提案している研修生もいる。

IV 訓練後の状況

IV・1 訓練生は訓練修了後、履修した分野と同じ業務に従事しているか。同じ業務でない場合はその理由。

訓練コース	はい%	いいえ%	備考
道路保守コース	78	15	
整備コース	96	4	
管理コース	73	19	
運転コース	47	6	

訓練生の大部分は、履修した分野と同じ職務に就いている。したがって、彼らが習得した知識は伝播される。

IV・2 訓練は以下の事項について改善をもたらしたか。

管理コース

内 容	A%	B%	C%	D%
建機稼働率	38	19	12	4
部品在庫管理	19	42	19	-
計画的作業	19	50	15	8
安全	15	23	27	15

道路保守コース

内 容	A%	B%	C%	D%
道路保守	41	51	6	1

整備コース

内 容	A%	B%	C%	D%
建機稼働率	29	52	17	2
計画的作業	15	53	28	4
安全	10	46	29	15

運転操作コース

内 容	A%	B%	C%	D%
計画的作業	7	46	6	6
安全	9	67	6	6
道路保守	9	44	6	4

A : 大改善をもたらした B : かなりの改善をもたらした
 C : まあまあの改善をもたらした D : 改善なし

上記結果は I F E E R の訓練が、概して建機稼働率、部品在庫管理、計画的作業、安全作業、道路保守の面に改善をもたらしたことを証明している。

IV.3 以下の事項について研修後の履修者のレベルがいかに向上したか。

コース名	道路保守	整備	管理	運転操作
1. 施工	13.6	20.6		17.1
2. 建機保守		19.7		17.2
3. 安全		22.5	17.7	19.9
4. 信頼できる故障診断		19.7	19.5	
5. 機械修理の腕の質		19.4		
6. マニュアル及び 工具の使用		19.4	19	
7. 標識の信頼性	15.6			
8. 骨材等材料の識別				
9. 道路保守技術の習熟	16			
10. 試験結果の活用	15.1			
11. 現場作業の組織	17			
12. 施工費用計算の コンピュータ応用習熟	16.6			
13. 保守作業の運営	22.5		18.5	
14. 部品在庫管理			22.6	
15. 機械経費算定方法の コンピュータ応用			21.6	14.65
16. 自発的率先	11.2	18	15.8	16.12
17. グループ作業	10	25.8	17.5	

總体的に I F E E R の訓練修了後、履修生のレベルが15~20%向上したことが判る。

V 訓練関係者(インストラクター等)に対する評判

コース名	良い	普通	悪い
道路保守コース	65	35	0
整備コース	94	6	0
管理コース	78	22	0
運転操作コース	64	30	0

訓練生の使用者(派遣元)は、I F E E R 幹部の能力に満足し、信頼を置いている。

これらの評価項目を分析して得られる結果は、概して良好であると結論づけられる。さらに、このアンケートから種々の提案や指摘を得ることができた。これらは、今後 I F E E R の訓練レベルをさらに高めるために、関係者を交えて検討するものとする。

得られた結果の中から、以下の重要事項を採択したい。

- 1° I F E E R の訓練は、履修者の業務遂行上非常に有益である。
- 2° 現行の訓練期間は総体的に容認できる。しかし、メカニシャン、機材管理者の 1/3 は訓練期間の短縮を希望し、短期専門訓練コース(1カ月間/コース)を設けることを提案している。
- 3° 履修生の大半は、必然的に休得した技術の伝播を行い、作業の質の向上が見られる。
- 4° 訓練生の使用者(派遣元)は、I F E E R 幹部の能力に満足し、信頼を置いている。

NOTE DE PRESENTATION

Parmi les recommandations du dernier comité mixte tenu à la Direction des Routes et de la Circulation Routière le 10/04/96, il a été jugé opportun, après trois années d'existence, de mener une enquête auprès des Directions Provinciales et Régionales des Travaux Publics pour évaluer la formation à l'IFEER.

A cette fin, un questionnaire couvrant les différents aspects de la formation a été élaboré et envoyé aux D.T.P. et R.T.P. Dans le souci de disposer de données fiables et exploitables, il a été demandé aux chefs hiérarchiques (chef SLM et chef service infra) des stagiaires de veiller personnellement au bon déroulement de cette action.

Le nombre total des réponses prévues est 525, cependant le taux de réponse enregistré à ce jour n'a pas excédé 45 %. Néanmoins, l'échantillon constitué des 236 réponses reçues peut être considéré comme représentatif.

Les tableaux présentés ci-après donnent en détail les résultats relatifs à tous les points du questionnaire. Ces résultats, commentés brièvement, sont généralement donnés en pourcentage. Ainsi, pour retrouver les chiffres réels, il est à signaler que le nombre des réponses reçues par section est comme suit.

<i>Section</i>	<i>Rép. prévues</i>	<i>Rép. reçues</i>	<i>Pourcentage</i>
<i>Mécanique</i>	108	71	66
<i>Entretien Routier</i>	164	85	52
<i>Gestion</i>	85	26	31
<i>Opération</i>	168	54	32
<i>Total</i>	525	236	45

Résultats d'exploitation des fiches d'évaluation

I. Contenu de la formation.

I.1. Le contenu répond -t-il à vos besoins ?

Section	Oui %	Non%	Quelques éléments d'amélioration constatés
Entretien Routier	98	2	<ul style="list-style-type: none"> • Essais de laboratoire. • Entretien routier périodique et courant • Gestion du domaine public
Mécanique	85	15	
Gestion	92	8	<ul style="list-style-type: none"> • Amélioration de l'organisation et de la gestion de la maintenance. • Amélioration de la gestion du stock et du magasinage.
Opération	100	0	<ul style="list-style-type: none"> • Amélioration de la Conduite des Engins • Amélioration de l'exécution des travaux • Amélioration de l'entretien des machines

On constate une très bonne adéquation de la formation dispensée dans les différentes disciplines aux besoins des utilisateurs.

I.2. Y-a-t-il des cours à ajouter ou à éliminer ?

Section	Cours à ajouter	Cours à éliminer
Entretien Routier	<ul style="list-style-type: none"> • Augmenter le nombre des visites de chantiers 	Néant
Mécanique	<ul style="list-style-type: none"> • Augmenter les cas pratiques d'électricité et de mécanique. • Augmenter l'entretien préventif des engins appartenant à la D.R.C.R. 	Diminuer les cours théoriques
Gestion	<ul style="list-style-type: none"> • Renforcer les cours d'informatique 	Cours de mécanique
Opération et Conduite	<ul style="list-style-type: none"> • Renforcer les cours d'électricité • Renforcer les cours de mécanique • Renforcer les cours pratiques de l'opération 	Néant

On remarque que les stagiaires souhaitent multiplier davantage les cas pratiques afin de leur permettre de résoudre les problèmes réels qu'ils rencontrent dans leur travail quotidien.

1.3. Comment trouvez-vous la répartition du temps pour l'ensemble des cours ?

Section	A conserver %	A modifier %	Observation
Entretien Routier	85	15	
Mécanique	55	45	• Renforcer les cas pratiques.
Gestion	38	58	Renforcer les cas pratique sur micro
Opération et Conduite	80	20	• Temps alloué aux cours pratiques doit être augmenté.

On constate que globalement la répartition actuelle du temps pour l'ensemble des cours est à conserver. Néanmoins des stagiaires partisans d'une modification de la répartition du temps sont favorables à une augmentation des travaux pratiques au détriment des cours théoriques.

1.4. La part des cours pratiques est-elle ?

Section	Plus que suffisante %	Suffisante %	Insuffisante %	Observation
Entretien Routier	-	35	65	• Augmenter les séances de topographie, de laboratoire et de visites de chantiers.
Mécanique	-	63	37	
Gestion	12	28	60	• Renforcer les cas pratiques sur micro.
Opération et Conduite	2	51	47	• Temps alloué aux cours pratiques doit être augmenté. • Eviter le stage en période hivernale pour éviter les arrêts des cours pratiques.

Conformément à ce qui a été constaté ci-dessus, les stagiaires aimeraient voir multiplier les cas pratiques.

II Planning et durée de chaque stage.

II.1. La durée du stage est-elle acceptable ou non ?

<i>Section</i>	<i>Acceptable %</i>	<i>Non acceptable %</i>	<i>Si non dire pourquoi?</i>
<i>Entretien Routier</i>	81	18	
<i>Mécanique</i>	62	38	<ul style="list-style-type: none"> • Durée trop longue
<i>Gestion</i>	65	35	<ul style="list-style-type: none"> • Durée trop longue, à scinder en 2 x 1.5 mois • Programme trop chargé à remplacer par une formation de 1 mois / 2 ans pendant toute la vie professionnelle.
<i>Opération et Conduite</i>	71	29	<ul style="list-style-type: none"> • La durée de 3 mois est trop longue à diviser en stage de 1 mois chacun. • 3 mois de formation ne suffisent pas pour apprendre 5 types d'engins.

Il ressort du tableau ci-dessus que globalement les durées des stages sont acceptables. Cependant plus que le tiers des stagiaires des sections mécanique et gestion souhaitent une réduction de la durée.

II.2. La période de stage est-elle convenable ?

<i>Section</i>	<i>Convenable %</i>	<i>Non Convenable %</i>	<i>Si non dire pourquoi?</i>
<i>Entretien Routier</i>	78	22	<ul style="list-style-type: none"> • Eviter le mois de ramadan
<i>Mécanique</i>	68	32	<ul style="list-style-type: none"> • Eviter la période hivernale
<i>Gestion</i>	73	19	<ul style="list-style-type: none"> • Eviter le mois de Ramadan • Eviter la période des vacances • Programmer la période en commun accord avec les SLM.
<i>Opération et Conduite</i>	82	18	<ul style="list-style-type: none"> • Il faut éviter de programmer le stage en hiver car en période des pluies la pratique est impossible. et en période de neige les DTP ne peuvent pas libérer les conducteurs d'engins pour le déneigement.

Il faut signaler que les stagiaires de l'opération dont la période de stage a coïncidé avec la saison hivernale n'ont pas fait suffisamment de pratique en raison des conditions climatiques non favorables.

De même les chefs de parcs et chefs d'ateliers jugent que la période de leur formation doit être en dehors de cette saison où leur présence dans leur service est nécessaire.

II.3. Souhaiteriez-vous que la formation actuelle soit remplacée par des modules de courtes durées.

Section	Oui %	Non %	Autres à préciser
Entretien Routier	42	54	
Mécanique	38	62	
Gestion	30	70	<ul style="list-style-type: none"> Remplacer la formation actuelle par trois modules: Un module sur l'initiation à la mécanique, un module sur la maintenance et la gestion des stocks et un autre module sur l'informatique et la comptabilité.
Opération et Conduite	39	61	<ul style="list-style-type: none"> Diviser le stage en cycle de 1 mois chacun. Prévoir module de spécialisation par machine.

On remarque que la formation modulaire de courte durée (un mois par module environ) est souhaitée par 40 % des stagiaires.

III- Les documents

III.1. Les documents fournis aux stagiaires sont-ils mis à la disposition de tout le personnel de votre service ? Comment en trouvez-vous la qualité ?

Sections	Qualité des documents				
	Oui %	Non %	Très bonne %	Bonne %	Ordinaire %
Entretien Routier	38	59	14	27	2
Mécanique	55	45	-	95	-
Gestion	50	50	4	38	8
Opération	30	70	13	81	0

On remarque que les documents, jugés de bonne qualité, fournis aux stagiaires restent en leur possession ce qui limite la diffusion et la vulgarisation des techniques et connaissances qu'ils ont acquises au sein de leur service.

Afin de remédier à ce manque d'information, certains stagiaires ont proposé de remettre une valise documentaire, à toutes les RTP pour la diffuser auprès des services concernés.

IV. Situation après le stage.

IV.1. Le stagiaire exerce t-il dans la discipline où il a été formé, si la réponse est non, dire pourquoi ?

Sections	OUI %	NON %	Observation
Entretien Routier	78	15	
Mécanique	96	4	
Gestion	73	19	
Opération et Conduite	47	6	

La plus part des stagiaires exercent actuellement dans le domaine où ils ont été formés. Ceci permet un transfert des connaissances acquises.

IV.2. La formation a t-elle apporté une amélioration sur les aspects suivants ?

Gestion

Désignation	A %	B %	C %	D %
Disponibilité des Engins	38	19	12	4
Gestion des stocks	19	42	19	-
Organisation du travail	19	50	15	8
Sécurité	15	23	27	15

Entretien Routier

Désignation	A %	B %	C %	D %
Entretien Routier	41	51	6	1

Mécanique

Désignation	A %	B %	C %	D %
Disponibilité des Engins	29	52	17	2
Organisation du travail	15	53	28	4
Sécurité	10	46	29	15

Opération et Conduite

Désignation	A %	B %	C %	D %
Organisation du travail	7	46	6	6
Sécurité	9	67	6	6
Entretien Routier	9	44	6	4

A : Grande Amélioration. B : Assez bonne Amélioration C : Amélioration moyenne
D : Pas d'Amélioration

Les résultats ci-dessus prouvent que la formation à l'IFBER a certainement contribué à l'amélioration de la disponibilité des engins, de la gestion des stocks, de l'organisation et la sécurité au travail et à l'entretien routier en général.

IV.3. Evolution du niveau des stagiaires après le stage sur les aspects suivants :
(Ecart de notation sur 100 points avant et après le stage).

<i>Section</i>	<i>Entretien routier</i>	<i>Mécanique</i>	<i>Gestion</i>	<i>Opération</i>
1. Exécution des travaux.	13,6	20,6		17,1
2. Entretien des machines.		19,7		17,2
3. Sécurité.		22,5	17,7	19,9
4. Fiabilité des diagnostics.		19,7	19,5	
5. Qualité des réparations mécaniques.		19,4		
6. Utilisation des manuels et d'outillage.		19,4	19	
7. Crédibilité de la signalisation.	15,6			
8. Identification des matériaux.				
9. La maîtrise des techniques routières.	16			
10. Exploitation des rapports de laboratoire.	15,1			
11. Organisation chantiers.	17			
12. Maîtrise de l'application informatique de comptabilité analytique.	16,6			
13. Organisation de la maintenance.	22,5		18,5	
14. Gestion des stocks.			22,6	
15. Maîtrise de l'application informatique de la comptabilité industrielle et commerciale.			21,6	14,65
16. Initiative personnelle.	11,2	18	15,8	16,12
17. Travail en groupe.	10	25,8	17,5	

On remarque globalement une progression entre 15 et 20 % du niveau du stagiaire à l'issue de la formation à l'IFBER

V- Echos sur la compétence des animateurs

<i>Sections</i>	<i>Positifs</i>	<i>Moyens</i>	<i>Négatifs</i>
<i>Entretien Routier</i>	65	35	0
<i>Mécanique</i>	94	6	0
<i>Gestion</i>	78	22	0
<i>Opération et Conduite</i>	64	30	0

On note que les utilisateurs sont confiants et satisfaits de la compétence de l'encadrement existant à l'IFBER.

En conclusion, les résultats qui ressortent de l'exploitation et de l'analyse de ces fiches d'évaluation sont globalement satisfaisants. En outre, l'enquête a permis de recueillir un ensemble de propositions et de remarques qui seront étudiées et exploitées ultérieurement avec les différents intervenants pour rehausser davantage le niveau de la formation à l'IFEER.

Parmi les résultats de cette étude on peut retenir les points principaux suivants :

1° Très grande utilité de la formation dispensée à l'IFEER dans la vie professionnelle des stagiaires.

2° Globalement les durées actuelles des stages sont acceptables. Cependant plus que le tiers des mécaniciens et gestionnaires du matériel souhaitent une réduction de la durée et proposent d'adopter une formation modulaire (1 mois/module).

3° La plupart des stagiaires formés, ce qui permet inévitablement un transfert des techniques acquises et une amélioration de la qualité des travaux.

4° Les utilisateurs sont confiants et satisfaits de la compétence des animateurs à l'IFEER.

3 機材の利用・管理状況表

機材の利用・管理状況表
 様式1 (160万円以上の機材) 一般供与機材

平成8年9月現在

供与年度	番号	機材名(メーカー名・型式)	価格	数量	利用(保管)場所	利用状況	管理状況	備考(特記事項)
平成4	1	ワゴン車(ルノー・エスパス)	841万円	1	研修管理棟駐車場	A	A	
	2	複写機(OCE社)	200	1	研修管理棟	A	A	
	3	コンピューター一式(マッキントッシュ)	218	1	"	A	A	
	4	ブルドーザー足廻整備用特殊工具一式(117g)	398	1	足廻整備工場	A	A	当該実習時のみ使用
平成5	5	検査工具一式(27点)	179	1	工具室	A	A	検査実習時のみ使用
	6	ブルドーザー(キャタピラ)	1905	1	建機格納庫	A	A	
	7	タイヤ式ローラー	841	1	"	A	A	
	8	ローラー肉盛溶接機	420	1	足廻整備工場	A	A	トラックローラ分隊組立時のみ使用
平成6	9	散水草	839	1	建機格納庫	A	A	
	10	トラッククレーン	1336	1	"	B	A	

機材の利用・管理状況表
 様式1 (160万円以上の機材) 一般無償機材 (1/3)

平成3年9月現在

供与年度	番号	機材名(メーカー名・型式)	価格	数量	利用(保管)場所	利用状況	管理状況	備考(特記事項)
平成4	1	ブルドーザー	2788万円	2	建機格納庫	A	A	
	2	トラクターシヨベル	1699	2	"	A	A	
	3	バックホー	1649	2	"	A	A	
	4	モーターグレーダ	1860	2	"	A	A	
	5	振動ローラ	934	2	"	A	A	
	6	ダンプトラック	940	2	"	B	A	
	7	トレーラ	1679	1	"	B	A	機材運搬時等に使用
	8	天井走行クレーン	993	1	エンジン修理工場	A	A	
	9	天井走行クレーン	886	1	エンジン修理工場	A	A	
	10	エンジンスタンド(容量3トン)	246	1	"	A	A	
	11	シリンダーポンピングマシン(66~150mmφ)	280	1	"	A	A	当該実習時にもみ使用
	12	馬力試験機(400PS/1333rpm)	1195	1	エンジン馬力試験室	A	A	"
	13	同上用水道管、エルボー、排気ガス排出管	195	1	"	A	A	"
	14	噴射ポンプスター(12リットル用)	1690	1	森林整備室	A	A	"
	15	スタータージェネレーターテストベンチ	575	1	電装品修理室	A	A	"
	16	油圧コポネントエレクトロニクス	2730	1	油圧装置試験室	A	A	"
	17	同上用アタッチメント	797	1	"	A	A	"
	18	旋盤	1119	1	工作機校室	A	A	
	19	ストレートシャンクドリル	163	1	"	A	A	
	20	テーパシャンクドリル	390	1	"	A	A	

平成8年9月現在

機材の利用・管理状況表
様式1 (160万円以上の機材) 一般無償機材 (2/3)

供与年度	番号	機材名(メーカー名・型式)	価格	数量	利用(保管)場所	利用状況	管理状況	備考(特記事項)
平成4	21	万能フライス盤	1984万円	1	工作機械室	A	A	
	22	鋸盤	186	1	"	A	A	
	23	クラクションヤマト研磨機	2259	1	"	B	A	訓練開始
	24	油圧プレス	236	1	"	A	A	
	25	ローラアライドラプレス	464	1	足廻整備工場	B	A	分解組立時のみ使用
	26	トラックリングプレス	1447	1	"	B	A	"
	27	シユエールインパクトレンチ	273	1	"	B	A	"
	28	エアコンプレッサ	414	1	エンジン工場	A	A	
	29	高压洗浄機	196	1	洗車場	A	A	
	30	フォークリフト	580	1	部品倉庫	A	A	
	31	燃料スタンド	210	1	燃料ステーション	A	A	
	32	貯油槽	1113	1	"	A	A	
	33	コンピュータセット	175	1	研修管理棟	A	A	
	34	カッターモデル(エンジン)	461	1	エンジン作業場	A	A	構造説明時のみ使用
	35	カッターモデル(トランスミッション)	265	1	"	A	A	"
	36	トランシット	396	1	土質試験室	A	A	
	37	アスファルトスプレヤー	713	1	建機格納庫	B	A	簡易舗装実習時のみ使用
	38	アスファルトケトル	727	1	構内	B	A	"
	39	チップスプレッタ	513	1	建機格納庫	B	A	"
	40	AS軟化点試験機	294	1	土質試験室	A	A	

機材の利用・管理状況表
様式1 (160万円以上の機材) 一般無償機材 (3/3)

平成28年9月現在

供与年度	番号	機材名(メーカー名・型式)	価 格	数 量	利用(保管)場所	利用状況	管理状況	備考(特記事項)
平成4	41	AS伸度試験機	460万円	1	土質試験室	A	A	
	42	マン卸安定度試験機(本体、記録機)	455	1	"	A	A	
	43	アスファルトミキサー	247	1	"	A	A	
	44	土の自動締固め機	188	1	"	A	A	
	45	CBR試験装置(本体、記録機)	566	1	"	A	A	
	46	コア採取機	167	1	"	B	A	アスファルト補装ニア 採取実習にのみ使用
	47	供試体切断機	240	1	作業機械室	B	A	供試体切断時のみ 使用
	48	車両、ステーションワゴン	347	1	研修管理棟駐車場	A	A	
	49	マイクروبラス	624	1	"	C	A	故障、修理部品手配中
	50	ピックアップ	315	1	"	A	A	

様式2 (10万円以上160万円未満の機材) 一般供与機材 (1/2)

平成8年9月現在

供与年度	番号	機材名 (メーカー・規格・能力)	供与数	処分数	現有数	利用状況	管理状況	処 分 理 由 等
平成4	1	ファクシミリ受信機(キヤノン)	1	0	1	A	A	
	2	噴射ポンプ	1	0	1	A	A	噴射ポンプ作業時のみ使用
	3	建機エンジン整備用特殊工具一式(50点)	1	0	1	A	A	当該実習時のみ使用
平成5	4	タンパー	1	0	1	B	A	締固め実習時にもみ使用
	5	プレート・コンパクター	1	0	1	B	A	"
	6	コンクリート・カッター	1	0	1	B	A	アクリル舗装修繕実習にのみ使用
	7	T分岐アダプター	1	0	1	A	A	
	8	ベアリング・プーラー	1	0	1	A	A	
	9	Oリング・キット	1	0	1	A	A	
	10	硬度計	1	0	1	A	A	
	11	油圧ポンプ	1	0	1	A	A	
	12	油圧モーター	1	0	1	A	A	
平成6	13	骨材衝撃試験機	1	0	1	A	A	当該実習時にもみ使用
	14	ドバル試験機	1	0	1	A	A	"
	15	アスファルト蒸留試験装置	1	0	1	A	A	"
	16	エングラマー粘度計	1	0	1	A	A	"
	17	アスファルト粘度計	1	0	1	A	A	"
	18	試験管攪拌機	1	0	1	A	A	"
	19	骨材すりへり試験機(アブラジメータ)	1	0	1	A	A	"
	20	恒温槽	2	0	2	A	A	"
	21	コヒージオメータ	1	0	1	A	A	"

様式2 (10万円以上160万円未満の機材) 一般供与機材 (2/2)

平成8年9月現在

供与年度	番号	機材名 (メーカー・規格・能力)	供与数	処分数	現有数	利用状況	管理状況	処分理由等
平成6	22	携帯用すべり抵抗測定器	1	0	1	A	A	当該実習時にもみ使用
	23	アスファルト粘度計	1	0	1	A	A	"
	24	精密秤	3	0	3	A	A	"
平成7	25	トランシット	1	0	1	A	A	"
	26	レベル	1	0	1	A	A	"
	27	噴射ポンプサーピスキット	4	0	4	A	A	"
	28	移動式溶接機	1	0	1	B	A	"
	29	ブーラーセット	1	0	1	E	A	"
	30	タイヤ分解工具	1	0	1	A	A	"
	31	油圧シヨベル用油圧ポンプアセンブリ	1	0	1	A	A	"
	32	" 油圧モーターアセンブリ	1	0	1	A	A	"

様式2 (10万円以上160万円未満の機材) 携行機材

平成8年9月現在

供与年度	番号	機材名(メーカー・規格・能力)	供与数	処分数	現存数	利用状況	管理状況	処分理由
平成4	1	ワードプロセッサ(キヤノン、CP-4500)	1	0	1	A	A	
	2	" (キヤノン、α-85)	1	0	1	A	A	
	3	ビデオカメラ	1	0	1	A	A	
	4	パーソナルコンピュータ(東芝ダイナブック)	1	0	1	A	A	
	5	コンピュータ用安定化電源トランス	1	0	1	A	A	
平成5	6	トレーニングエイド一式	1	0	1	A	A	
	7	ワードプロセッサ(キヤノン、85E)	1	0	1	A	A	
	8	ブルドーザ整備用特殊工具一式(インターヨカガハール)	1	0	1	A	A	当該実習時のみ使用
平成6	9	パーソナルコンピュータ(マッキントッシュ)	1	0	1	A	A	
平成7	10	パーソナルコンピュータ(東芝)	1	0	1	A	A	
	11	エンジン回転計	1	0	1	A	A	

JICA

LIE